

更埴教育会だより

第1号 令和6年7月
文責 教育会あり方検討委員会

このおたよりは、全職員に配付しています。興味がわいた方、いつでも会員募集中です！

令和6年の更埴教育会 活動がスタート

5月には、新入会員歓迎会や教育会総集会が行われ、各研究委員会や教育研究会などが発足し、年間計画に沿って様々な活動が行われています。「教育会あり方検討委員会」では、今までコロナ禍中にそれぞれの活動の「よさ」について検討を重ねてきました。この「更埴教育会だより」では、多くの先生方に更埴教育会の活動の「よさ」に加えて、更埴教育会活動の「魅力」や「活動の課題」などを掲載して、みんなで更埴教育会を盛り上げていけるようにしていきたいと思います。1年間よろしくお願いします！！



新入会員歓迎会（5／1）

5月1日（月）、更埴教育会館で、「新入会員歓迎会」が行われました。新入会員（非会員も含む）14名が参加し、教育会館の2階は、フレッシュな雰囲気であふれていました。日頃なかなか話す機会がない他校の先生方と情報交換をしたり、来賓・顧問の先生方と話をしたりするなど、参加者にとって有意義な時間となりました。



【本年度の新入会員の先生方】敬称略

山崎佑哉（村上小）	渡辺光弥（村上小）	樋口美奈（坂城小）	滝澤岳人（戸倉小）	中村駿仁（戸上中）
塩原咲希（治田小）	南沢青和（屋代小）	安藤聖雅（屋代小）	南 拓海（東小）	山邊恵美（屋代中）
米持菜香（屋代中）	渡邊夢那（稲養）	寺島響生（稲養）	古畑瑞枝（稲養）	以上14名



よさや魅力発見！

初めて郡内に赴任した皆さんが、他校の方とつながりをもつきっかけになっています。



会が終了しても、気さくに話をしていく様子もあったそうです。



以前の会食の場のような自由に話ができる場にできるといいかも。

～新入会員歓迎会に参加された先生方の声～

地元を離れて、不安なことが多い毎日でしたが、同じ立場の先生方と悩みを共有することができ、よい時間となりました。保健室にいと気づかないことや担任の先生のお考えなどを聞くことができ、大変勉強になりました。（坂城小：樋口先生）

自分の悩みや課題について、色々な先生方とお話することができました。他の学校の先生方とお話する機会は貴重なため、とても充実した時間を過ごすことができ、「明日から、こんなことをしてみようかな。」と思いながら次の日に学校に行くことがより楽しみになりました。（東小：南先生）

はじめての地で不安ばかりでしたが、同じような悩みを感じている人たちとお話することができ、安心しました。授業づくりや生徒指導での課題を共有することができ、今後の道しるべとなる時間でした。また、集まれる時間が楽しみになりました。（屋代小：南沢先生）

更埴教育会総集会（5／18）

今年度は、講師に臨済宗妙心寺退蔵院 副住職 松山大耕先生をお招きし、「違いを力に～人と人との相互理解」と題してご講演をいただきました。

松山先生の経験談がとても印象的でした。お寺の住職を継ぐのが嫌だったこと、中学校3年生の時のアラスカ旅行、大学進学で出会った農学部との先生との出会いの話、海外に出て違いを実感し、そこから学んだことなど・・・

また、経験や環境など違う境遇に身を任せることで、物事や考え方の本質に気づいていった松山先生の生き方から、違いや価値観をどう捉え、自分の生きた方につながるっていくかで、幸せの感じ方が変わってくることもご示唆いただきました。

子どもや同僚、保護者、地域の方とどう向き合い、どう相互理していくか考えさせられる内容で、とても参考になる講演会でした。



自分の師匠をもつことは重要！



よさや魅力発見！

オンライン通信の活用は、教師の働き方改革、ICTの積極的活用、会場借用費の節約につながっています。



講演会は、自己の視野を広げるうえでよい機会となっています。

自宅などから個人で接続ができ、参加しやすくなりました。NEW

例年、会員からの希望を聞きながら、講師が決め出されています。

～更埴教育会の歴代講師の方紹介（更埴教育会の魅力）～

【歴代の講師】

H22 哲学者 川田 殖 氏	H23 相田みつを美術館長 相田 一人 氏
H24 作家 井沢 元彦 氏	H25 精神科医 香山 リカ 氏
H26 杏林大学外国語学科教授 金田一 秀穂 氏	
H27 大村はま記念国語教育の会事務局長 荻谷 夏子 氏	
H28 政治学者 姜 尚中 氏	H29 落語家 林家 木久蔵 氏
H30 弁護士 菊池 幸夫 氏	R 元 金子みすず記念館長 矢崎 節夫 氏
R 2 新型コロナのため中止	R 3 東北大学加齢医学研究所長 川島 隆太 氏
R 4 作家 ドリアン助川 氏	R 5 人とホスピタリティ研究所代表 高野 登 氏
R 6 臨済宗妙心寺退蔵院 副住職 松山大耕 氏	

第138回信濃教育会総集会北安曇大会（7／6）

ポスターセッションでは 五加小 蟹澤和哉先生 大活躍

信教総集会北安曇大会が、白馬村ウイング21で行われました。昨年度の更埴大会と同様に、今年度も4人の若手会員がこの大会を盛り上げていました。

パネルディスカッションでは、「信州教育の明日を拓く～児童・生徒が主体となる学校とは～」をテーマに、中学校の生徒会や小学校の運動会での取り組みの実践発表や中学生の「主体」についての捉えのアンケート結果などをもとに話が進められ、児童・生徒が主体となる学校について考える時間となりました。

また、ポスターセッションでは、昨年度の信濃教育会教育研究論文で準特選に選ばれた五加小学校の蟹澤和哉先生が、「自由進度学習 はじめの一步 ～学習者が自律的に学ぶ姿を求めた3年間～」というタイトルで発表しました。一人で学ぶ環境づくりや保護者への発信の重要性、継続してきたことで見えてきた個の学びを支える協働の学びなど、3年間に渡って積み重ねられた実践を、具体的子どもたちの姿を通して発表していました。話を聞いていたり質問したりする先生の多さから、注目度の高さを感じました。

午後には、雪印メグミルクスキー部アドバイザーの原田雅彦さんのトークショーもあり、大変充実した総集会となりました。



ポスターセッションで語る蟹澤先生